

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年4月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ADL中心の計画でなく、楽しみごとも含めた介護計画を作成をしていく必要がある。	本人の情報を収約し、その人らしく暮らせるよう、楽しみも含めた介護計画を作成する。	介護計画を見直し、本人、家族から趣味、楽しみ、馴染みの場所、思い出など情報を収集し、計画に反映する。	6ヶ月
2	35	夜間帯を想定した避難訓練ができていない。	夜間を想定した訓練を年1回は実施する。	他部署と相談しながら、非常時の行動指針を明確にするマニュアルを作成し、訓練を実施する。	12ヶ月
3	54	壁の飾りつけに画びょうを使用しているのは危険である。また、タンスや床頭台の転倒防止対策が必要である。	居室の飾りつけは、はずれても安全なものを使用し、家具には転倒防止の固定をおこなう。	必要性のある居室には、画びょうを0粘着テープに変更し、家具は転倒防止テープなどで固定をする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。